

1412

第33回県民文化祭参加

8ミリ・ビデオ映像祭プログラム

開会のことば 和歌山映像クラブ 会長 関 久

1. 曼珠沙華の風景 9分15秒 和歌山 菱田 公造

古代楽器の調べにのせて、「曼珠沙華」の映像といっしょに作品にしたものです。

2. くもり日の桜 10分30秒 和歌山 八木 啓

静かなくもり日の「大池公園」です。満開の桜に、うぐいすの美声が聞かれました。桜に関する名曲を心に思い浮かべながら爛漫の春を表してみました。

3. 鐘 供 養 7分00秒 和歌山 月山 清

「道成寺」で毎年四月、安珍の霊をなぐさめるため行われる『鐘供養』です。「ジャンジャカ踊り」も見ものです。

4. 佐渡はいよいよか 7分20秒 和歌山 柚木 正義

会社のOB仲間と「佐渡」へのバス旅行を楽しみました。うまく撮れなかったのが少ないので、トキ資料館と、佐渡金山の見学と、タライ舟の場面だけ編集してみました。撮影の段階で、もっと編集しやすいよう心掛けて撮っておかなければ、良い作品は作れないとよく分かりました。

5. ある「町おこし」～トロッコの旅 12分00秒 和歌山 奥野 敏之

瀬峡の近く、三重県紀和町。町おこしの一環としてトロッコを走らせています。全国でもここだけという、現役時代に近い姿で走るトロッコに魅せられて通った私の記録です。

6. 懐念的天津旅程 15分00秒 和歌山 関 久

何かの折にふっと心に湧いて来る思い——幼少時過ぎた天津の家屋はあの地震の後も無事だろうか——「個人旅行でさがしに行く問題でもなし」と考えていた時、天津泊のツアーが見つかり出かけました。ほとんど消失している僅かな記憶だけで、果たして行きつく事が出来るのか？「駄目元なら再度行くさ」と出かけたが……

休 憩

和歌山県アマチュア映像連盟 平成12年度 第30回映像コンクール表彰式 〈ごあいさつ〉 会長 松山 健

7. 紀州・和歌浦「天満宮」 15分00秒 和歌山 塩崎 博

和歌浦地区の氏神「天満宮」は菅原道真公をお祀りしているところから、学問の神様として信仰を集めています。その歴史的背景や主なお祭りなどを紹介します。

8. おわら風の盆 10分00秒 和歌山 市川 賢三

薄暗い町の曲り角から、三味線、胡弓のしんみりした音に力強いハヤシの声を加へられて編笠をかぶった人々が手足を揃へて舞って来る夏祭のシーンを連想して富山の八尾町へ行ったのですが、時代の波は観光客にとり変へられ、舞っている人々を見つけるのが大変でした。撮影するのは更に苦心しましたが、おどっている人々はとても親切なのにビックリしました。

9. 秋の赤目四十八滝 13分00秒 和歌山 岡崎 譲

秋の「赤目四十八滝」の秋を少しでも表現できればと作ってみました。家内と行ったのですが、少しでも楽しさが表せたらと願って撮りました。

10. プラハの街角 15分00秒 和歌山 楠山 彰一

チェコの古都「プラハ」…黄金の町、百塔の街、音楽の街とも言われています。中世以来の町並みを残し、さまざまな時代の建築様式の建物、その中央を悠然と流れるヴルタヴァ川、石畳の道。プラハは歩いて楽しむ街です。あちらこちらでのストリートパフォーマンス、物売りなど飽きることがありません。

11. 春遠からじ 12分50秒 和歌山 前田 幸男

女流作家「壺井栄」の生誕百年を記念して、小豆島・内海町では町民300人が出演する『演劇・二十四の瞳』が今年二月に上演されました。二、三日前から島を訪れ演劇も特別席で見せてもらいました。町民あげでの熱気に湧いた会場の雰囲気は、私のウデではとても伝えられませんが、あの感動を少しでも記録できたらと思って編集しました。

◇都合により上映作品が変更になる場合はお許し下さい◇
(午後4時頃終了予定)